

◎保健福祉部所管

問 地域敬老事業補助事業について、なぜ、従来の敬老イベントを止めて補助事業に変更したのか。

答 これまでは敬老月間である9月に文化センターで敬老イベントを実施していた。
しかし、文化センターに足を運べる高齢者に固定化され、多くの高齢者が恩恵を受けられていない状況であったことを踏まえ、敬老イベントを見直して新たな事業として地域敬老事業を企画した。

問 敬老事業を実施する行政区に補助金を交付することになるが、区長会に話をした反応は。

答 区長会には、まだ話をしていない。実施要綱がまとまり次第、地域の敬老事業に活用して頂くよう案内していきたい。

問 敬老事業を実施しない行政区に対して、必ず実施するよう行政からお願いするのか。

答 現在、既に実施している行政区は、今回の補助金を有効活用して頂ける。未実施の行政区は、

補助金をきつかけに、敬老事業の検討を呼びかけていく。

意見 今まで敬老イベントに参加していた方でも、実施しない行政区であれば、行きたくても行けなくなるのでは。

まず、区長会等に話をし、市民の声を聴いてから事業を企画すべきでは。

補助事業の情報が地域に行きわたるよう、周知すること。

問

姉妹都市健康交流事業について、令和4年度は累積歩数競争を6月から8月で実施したが、なぜ、令和5年度は実施時期を10月・11月に変更したのか。

答 令和4年度の表彰式は10月に開催される健康フォーラムで行うことと決めたため、その時期に実施した。

令和5年度は表彰式の時期が変更されたことで、実施時期を変更した。

意見

累積歩数競争では、同じ人が何度も受賞するのではなく、多くの方に受賞のチャンスを広げて頂きたい。

今後、まつまえ町と受賞の条件を話し合っしてほしい。

令和4年度 補正予算

◎総務部所管

問 ふるさと納税の寄附の増加に伴い返礼品代金を増額するが、ポータルサイト使用料が追加計上されていない。支障ないのか。

答 サイトに上げている件数、寄附を頂いた金額により様々な変動があり、返礼品代金とポータルサイト使用料を合せて増額するとは限らない。ポータルサイト使用料は計上している予算の範囲内で賄えると考えている。

問

財政調整基金費の補正額3億6899万円により、財政調整基金の残高は。また、その残高は適正か。

答 令和4年度末の見込額は10億2678万円である。一般的に財政調整基金の残高は、標準財政規模の一割程度が適正といわれている。本町に当てはめると約7億円になり、適正である。

問

市町振興に伴うイベント助成金の規模は。

答 県の市町振興協会の助成事業の予算額は一市町当たり600万円の規模である。

◎保健福祉部所管

問 粗大ごみ及び埋立ごみ運搬処理量が増加した要因は。

答 ごみ減量の努力はしているが粗大ごみ・埋立ごみ両方の運搬・処理量が増えている。粗大ごみの中には資源ごみも多く含まれており、資源ごみの運搬に関しては減っている。

意見

放置されている粗大ごみや、袋からはみ出している埋立ごみ等、ルール違反をしているごみを処理するために税金を投入することにならないよう、委託業者にヒアリングして、実態把握の検証を。



埋立ごみ ～ごみ出しルールを守りましょう～